

明大の図書館(2)

目で見る明治大学の歩み

Me de Miru Meiji Daigaku no Ayumi

vol.51

100周年記念図書館(研究棟時代)

3代目(旧)記念館にあった図書館は、1984(昭和59)年5月、研究棟内に移設され100周年記念図書館となりました。

100周年記念図書館のようす(1998年)



3代目(旧)記念館と研究棟(1985年)



明大の図書館

明治大学の図書館は、1886(明治19)年12月に設置された「文庫室」が起源であるといわれています。現在利用されている中央図書館(2001年3月オープン)や和泉図書館(2012年5月オープン)は、従来の図書館のイメージを変える斬新な施設・機能をあわせもった図書館となっています。

今回は、前々号(55号)で特集した「明大の図書館(1)」の続編として、近年の駿河台、生田、そして2013年4月にオープンする中野図書館を紹介します。

(明治大学史資料センター・阿部 裕樹)

中央図書館

2001年3月オープンの中央図書館は、従来の文献資料の収集・利用に加え、情報化および生涯学習に対応した施設として整備されました。

中央図書館のようす(2006年)



リバティタワー(2006年)

生田図書館

生田キャンパス初の図書館は1951（昭和26）年3月設置の農学部図書室です。1970（昭和45）年には図書館生田分館となりました。現在の生田図書館は1988（昭和63）年4月に竣工した施設です。

生田図書館（1979年）



生田キャンパス航空写真（1992年）



生田図書館 館内の様子（1979年）



中野図書館

閲覧ゾーンや情報検索ゾーン、新聞・雑誌ゾーンなど多彩な閲覧スペースを設け、集中して学習できる快適な環境を提供できる施設として整備しています。

中野図書館（イメージ図）



※中野のキャンパス画像はCGによる完成イメージです。
竣工時とは異なる場合があります。



中野キャンパス（2013年春オープン）